

愛ちゃん と 希望くん



中央共同委員会

やわたはま

# 社協だより

# 29号

平成23年1月1日

《発行》社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会 八幡浜市松柏乙1101番地  
八幡浜市保健福祉総合センター2階 TEL 23-2940 FAX 23-0506  
ホームページは [八幡浜市社協](#) まで

## 謹賀新年

八幡浜市社会福祉協議会会長



菊池清之

新年あけましておめでとうござ  
います。

皆様におかれましては、希望に満  
ちた輝かしい新年をお迎えのことと  
お喜び申し上げます。

旧年中は社会福祉協議会の諸事業の推進につきまして、  
格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

いま、少子高齢化の進行、核家族の増加、経済の長期低  
迷など、社会情勢の変容により、地域においてさまざまな  
問題が発生しております。

そうした中、社会福祉協議会の地域における役割はます  
ます重要となっております。地域での「ふれあい・支えあい」  
が求められております。

私たち社会福祉協議会は、これまでに蓄積してきた福祉  
における専門性やネットワークを活用し、「すこやかな心ふ  
れあう、思いやりのあるまちづくり」の実現のため、地域  
の拠点として、住民参加のもと、福祉、保健、医療等関係  
機関と連携を密にしながら、より一層推進してまいります  
ので、本年も引き続きご指導、ご協力を賜りますようお願い  
申し上げます。

今年も皆様にとりまして、よい年でありますように、  
心からご祈念申し上げます。



# 「ヒューマン・インタビュー」 「福祉のまちづくりをめざして」

平成22年12月1日、八幡浜市民スポーツセンターにおいて、八幡浜市民生児童委員協議会伝達式・臨時総会が行われました。平成22年12月1日より八幡浜市民生児童委員協議会長に就任された田中定彦さん。長年、地域福祉を支えていただいている一人の民生児童委員として、その役割や活動に対する思いを伺いました。



八幡浜市民生児童委員協議会  
会長  
田中定彦さん

昭和12年1月17日布喜川で生まれる。(73歳)  
八幡浜市・旧伊方町・旧三崎町・旧三瓶町で小学校の教諭として勤務。  
平成10年12月に八幡浜市双岩地区布喜川・横平の民生児童委員に就任。双岩地区民生児童委員会長を経て平成22年12月1日より現任。

## 【民生委員さんの役割は?】

民生委員・児童委員「広げよう 地域に根ざした思いやり」行動宣言の中に民生児童委員の使命があると強く感じています。

- 一、安心して住み続けることができる地域社会づくりに貢献します。
- 二、地域社会での孤立・孤独をなくす運動を提案し行動します。
- 三、児童虐待や犯罪被害などから子どもを守る取り組みを進めます。
- 四、多くの福祉課題を抱える生活困難家庭に粘り強く接し、地域社会とのつなぎ役を務めます。
- 五、日頃の活動を活かし、災害時に要援護者の安否確認を行います。

## 【活動の上で大切なこと、「自身」が心がけておられることは?】

地域住民・民生児童委員・関係機関の心が通じ合うように、「まごころ」をもって行動することを心がけています。また、地域の福祉・生活の課題が複雑化しており、「連携」の大切さを実感しているところからです。

地区社協で行っている給食サービスで、お一人暮らしの高齢者の方へお弁当を届け、お互いが笑顔になったときは、「まごころ」を感じることができますね。

## 【長年携われる中で、感じる社会・地域の変化は?】

昔から布喜川に住んでいる世帯については、よく把握しています。新しい住宅地については、引越など世帯の入れ替わりが多くなっている現状

状があります。世帯の把握のためには、コミュニケーションの大切さを感じております。また、子どもの数が減っていますね。十数年前はスクールバスに入りきれないほど児童がいたんですが…。少子高齢社会を実感しています。

## 【民生児童委員活動と社協活動との連携についてお聞かせください。】

地域における「ゆい(結)」が弱くなっています。昔のような「ゆい(結)」を地域に取り戻すことは難しいと思います。しかし、地域における新しい支え合いを地域住民や民生児童委員・関係機関が連携して模索していくことが必要です。八幡浜市においても、強い部分は沢山あります。現在、市社協・地区社協が力をいれて取り組んでいる「ふれあい・いきいきサロン」や「子育てサロン」は効果的だと思います。多くの民生児童委員や主任児童委員が、サロンには積極的に協力しています。平成20年度の統計では、民生児童委員の定員に達しているのは愛媛県を含め3県のみです。全国的には、民生児童委員の担い手がなくなっており、これは地域福祉の直面する大きな課題です。社協には地域に根ざした活動、人づくり、個々のつながりを強める地域福祉活動を期待しています。

## 【これからの目標は?】

コソコソと、地域のおもいやりを育てていきたいと思えます。「笑う門には福来る!」と笑顔でしめくくっていただきました。

「地域を支える究極の

ボランティア」民生児童委員」

住み慣れた地域で安心して暮らしていくには、みんなが支え合い、助け合っていくことが必要です。そんな地域の助け合いの最前線で頑張っているのが、民生児童委員の皆さんです。民生委員・児童委員制度は、今から百年近く前の大正6年に岡山県で済世顧問制度としてはじまり、現在は地域福祉を支える仕組みとして、全国に定着しています。八幡浜市では、現在114名の民生児童委員、22名の主任児童委員の皆さんが活躍されています。でも、「民生児童委員」ってよく聞くと、何をしているのかわからないという方も多いのではないのでしょうか。今回は、その民生児童委員の活動をご紹介します。

【民生児童委員】

民生委員は、地域福祉の向上のために厚生労働大臣から委嘱されたボランティアで、児童委員を兼ねています。また、平成13年に児童福祉を専門的に担当する主任児童委員が法制化されました。それぞれ担当地域が決められており、使命感と責任感を持って、地域にお



いて様々な活動を行っていただいています。

選任 皆さんの身近に住んでいる方の中から、市町村の民生委員推薦会が推薦した者について、都道府県に設置された社会福祉審議会の意見を聴いた後、都道府県知事の推薦によって、厚生労働大臣が委嘱する。  
任期 3年(再任は可能)

【活動】

民生児童委員は、社会奉仕の精神を持って、住民の立場に立ち、相談・援助を行い、地域福祉の向上に努めておられます。「調査」「相談」「情報提供」「連絡」「調整」「生活支援」「提言」の7つのはたらきを基本に活動されています。高齢者世帯、ひとり親世帯、障がい児者世帯、赤ちゃんがお生まれになったご家庭などへの訪問活動により、見守り支援を行ってまいります。また虐待防止の観点では、児童・高齢者など虐待事案の早期発見・通告にも尽力いただいています。

■八幡浜市民生児童委員協議会理事会

各地域の状況の把握、課題、問題等を共有するため、市内14地区から民生児童委員14名、主任児童委員1名が参加し、理事会が毎月1回開催されています。



子育てサロン えどおかポッポ

【基本活動のほか地域活動にも積極的に協力参加。住民福祉の向上に、幅広く取り組まれています。】

■見守りネットワーク事業

■災害時要援護者避難支援プランへの協力

■ふれあい・いきいきサロン／子育てサロンへの協力

■心配ごと相談所

民生委員等が相談員となり、皆さんの悩みや困りごとの相談に応じます。無料です。どんな、ささいな事でも結構です。

■市社協・各地区社協活動への協力・連携

■証明事務

地域をよく知っておられ、住民の身近にいて生活全般の支援をされていることから、証明事務を行っておられます。ご利用の場合は、民生児童委員の証明が必要です。

## 平成22年度八幡浜市社会福祉大会のご案内

地域課題を共通の認識として、関係者一同が、今後の地域福祉活動・ボランティアの一層の推進と、市民の福祉向上に資するとともに、市民一人ひとりが地域福祉を考え参画することを目的として開催します。

地域福祉に貢献された人・団体への感謝をこめた表彰、記念講演では心あたたまってお話がありますので、市民のみなさん、お気軽にご出席ください。

1. 日時 平成23年1月29日午後1時30分～
2. 場所 八幡浜市民会館 大ホール
3. 内容 式典・記念講演
4. 講師 藤井 妙法 先生（天台宗僧侶）



### ●プロフィール●

さまざまな学問と修行を経て現代の人々の心に届く生きた人生哲学を語る情熱僧侶。

昭和24年に大阪市に生まれる。京都教育大学で心理学を、大谷大学で仏教学を、京都大学で哲学を学ぶ。

現在、勇気と元気の出る講演と研修を日本各地の大企業・中小企業・青年会議所・商工会議所・商工会・経営者会・労働組合・官公庁・教育委員会・学校PTAなどで、毎年150回以上おこなっている。

滋賀県の比叡山や奈良県の三輪山などで修行を経て、昭和44年、20歳の時に仏教に帰依する。

昭和51年、27歳の時、比叡山延暦寺長賜の千日回峰行者であった葉上照澄大行満大阿闍梨のもとで比叡山延暦寺大講堂において正式に出家得度をして天台宗の僧侶となる。

阪神淡路大震災ではボランティア活動をおこない、講演と研修で得た1,000万円を日本青年会議所に寄付した。

5. 演題 「みんなおなじ人間だもの」～人の心の痛みがわかる人間になろう～
6. 入場料 無 料

## いっしょに冬ボラ

平成22年12月1日[水]

～平成23年1月31日[月]

ボランティアするとココロもカラダも暖かくなる。  
みんなで一緒にすると、もっと暖かくなる。  
今年の冬は大切な人と冬ボラしませんか？



愛媛ボランティアネット <http://nv.pref.ehime.jp/>

愛媛ボランティアネット 検索

お詫び 平成22年10月1日発行の「社協だより」赤い羽根共同募金特集28号記事で記載漏れがありました。大口募金〔真穴地区〕2,000円未満30件 お詫びして、訂正いたします。